大正中学校だより

令和５年度　第６号

令和５年１０月２日発行　横浜市立大正中学校

大正中学校ホームページ　http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/taisho

大正中学校教育目標

未来に向かって心豊かにたくましく生きるために

- **自らの生き方を創りだし、より広く・より深く考え、課題解決に向けて粘り強く取り組む力をつけます。（知・開）**
- **互いの違いを認め合い、思いやりの心を持ち自他の生命と人権を大切にします。（徳・体）**
- **あいさつを大切にし、社会への視野を広げ、地域や社会に貢献できるようにします。（公・開）**

大正中学校の学校防災

校長　木村 達洋

大正１２年９月１日 11 時 58 分、東京・神奈川を中心とする南関東で大きな被害を出した関東大震災。横浜は約６割の家屋が破損、発生が昼食の時間と重なったことから、多くの火災が発生し、大規模な延焼火災に拡大しました。

今年は関東大震災の発生から１００年の節目の年にあたります。その発生日の９月１日は「防災の日」と定められ、日本における災害対策の出発点となりました。

地震大国である日本は、その後も各地で地震が発生し、特に「平成７年１月１７日阪神・淡路大震災」と「平成２３年３月１１日東日本大震災」は深く記憶に残る大規模地震でした。

これまでの多くの犠牲と経験が今の「防災」につながっています。横浜市立の学校においては、「横浜市学校防災計画」に基づき、生徒の安全を最優先した防災計画が決められており、本校もこの計画に則って対応をすることになります。

その計画には、授業中に大地震が発生した場合、次のように対応すると決められております。

☆大規模地震(「市域のいずれかで、震度５強以上の地震が観測されたとき」)発生の際は、直ちに授業を打ち切り、次のとおりとする。
児童生徒の預かり、引渡しについて＜小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校＞
保護者が学校に引き取りに来るまで学校で預かる(留め置く)こととする。

学校便りの後半に、先日実施した本校の防災訓練の紹介がありますが、その際に「生徒の引き取り訓練」を実施しております。保護者の皆様におかれましては、ご協力ありがとうございました。

多くの保護者の方が仕事などで自宅から離れていることが多く、もしも大地震が発生した場合の引き取りは、帰宅困難な状態になることも想定されるため、時間が掛かる可能性が高いのではないかと考えます。そのために、防災備蓄品として生徒用の「食料や水など」を保護者の方にご負担いただき購入し、学校で保管をしております。

本校は「地域防災拠点」に指定されており、大震災の時には体育館が地域の避難所となります。実際に大地震の発生を想定すると、授業中の場合には多くの生徒が学校に残っているため、生徒の安全確保や保護者への確実な引き渡しを教職員が対応しなければなりません。教職員もご家庭の状況によっては対応が厳しいことも考えられます。よって、「地域防災拠点」については、「地域の力」による運営をお願いしなければなりません。どうぞご理解いただきたく思います。

いつ発生するかはわかりませんが、もしもに備え、学校も家庭も地域も防災についての意識を高めておくことが大切ではないかと感じます。

横浜市立大正中学校

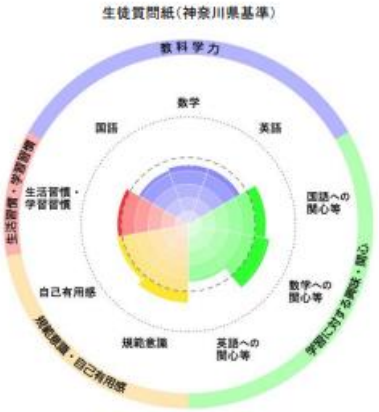
令和５年度　全国学力・学習状況調査結果について

１　概観

４月19日に３年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。今年度は英語が加わり、国語・数学・英語の３教科で実施されました。新聞報道等でご存じのことと思いますが、今年度は、英語の調査が「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の調査に加え、「話すこと」の調査をオンラインで実施するという新しい試みが全国で行われました。ICT 環境・端末の整備、生徒の端末の操作等、多くの課題があることが全国で報告されました。

生徒一人ひとりの結果については、９月に配布いたしました個人票でご確認ください。

本校３年生は、例年と変わらず、実施された国語・数学・英語の３教科ともに全国、神奈川県の平均から少しだけ低いという結果になりました。しかし、生徒質問紙から、国語、数学、英語の勉強は大切で、授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思っている生徒が多く、その割合は全国・神奈川県の平均を上回っていました。授業を大切に真面目に取り組もうとしている生徒が多いことがわかりました。一方、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に対して「よくしている」「ときどきしている」と答えた生徒は、全国、神奈川県の平均より少ないという結果でした。



自主的に学習に取り組めるように指導していくことが今後の課題であると感じています。

また、「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、大正中学校の生徒の規範意識は、全国、神奈川県の平均より高いことがわかりました。相手を思いやる気持ちや、誰かのために役立ちたいという気持ちが育っていることがわかります。それ以外にも、「学校に行くのが楽しい」と思っている生徒が多いこともうれしいかぎりです。

２　今後の取組

全国学力学習状況調査の結果を受けて、本校は組織的に取り組むべき改善策を次のように考えました。本調査を受けた３年生に対しては、年度末までに課題になっている部分を少しでも改善させ、学力向上を目標に、様々な教育活動を展開していきたいと考えています。

〇国語

- 現代文・古文ともに知識が定着していない傾向がみられるので、現在行っている漢字小テストに加え、さらに反復学習の機会を設け、日常的に語彙を意識して文章を書く習慣を身に付けることによって、確実な定着を図ります。
- 国語の学習に対する興味や関心は高いので、文章を丁寧に読み、自分の考えを深められるように対話的な学習を進め、思考力判断力表現力を総合的に伸ばしていきます。

〇数学

- 計画的に計算問題の反復を行い、基礎・基本の定着を図ります。
- 関数の領域を苦手とする生徒が多いことから、比例と反比例、１次関数の復習に力を入れていきます。
- 「なぜ？」「どうして？」といった疑問を大切にし、考えることによって、思考力、判断力、表現力の定着をはかります。

〇英語

- 授業での理解度をあげていくために、基礎・基本の定着をはかります。
- 「書く」力が身についていない傾向があるため、文章を組み立てる基礎力を定着させるとともに自分の言葉で表現できるリテリング・リライティングの練習を繰り返します。
- 「話すこと」調査では、日頃の授業での AET とのコミュニケーション力が生かされていました。

横浜こども会議と地区別懇談会の実施

令和５年度「横浜こども会議」テーマ
「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪」
～いじめをなくすために、一人ひとりができること～

８月３１日（木）午後 戸塚区役所において、**「戸塚区横浜子ども会議」**が行われました。本校から代表として、３年生徒会長　小竹　乃々香さんが参加しました。

「横浜子ども会議」は、横浜の将来を担う子どもたちが「いじめ」を自分たちの問題として捉え、だれもが安心して生活できる、いじめの起こりにくい社会をつくろうとする意欲を引き出すことなどを目的として毎年開催されています。

今年度は、準備として５月２日に大正中学校ブロック（大正中と東俣野小・大正小・小雀小）の各代表が集まり、市のテーマをもとに、大正中ブロックのテーマを**『安心・安全な学校生活を送るために、大正中ブロックができること』**に設定し、各校の取り組みに基づくテーマを次のように設定しました。

大正中学校　　**太陽　～明るく照らす毎日を～**
東俣野小学校　**ひがまた 4TREE みんなでチャレンジ**
～みんなであいさつ みんなでけじめ みんなで思いやり みんなが全力～
大正小学校　　**仲良し・チャレンジ・あいさつ**
小雀小学校　　**つながり→認め合い→安心 ＝ We Love 小雀**

戸塚区の子ども会議では、それぞれのテーマを目指すための取組について、小中ブロック毎に発表があり、大正中ブロックはパワーポイントを利用して、「挨拶運動」「意見箱」「仲良し班活動」など各学校の取り組みについて発表をしました。また他校の様々な取組も知ることができました。

この会議を踏まえて、９月１２日（火）には、大正中学校にて「学校・家庭・地域協働事業」の一環として**「地区別懇談会」**を実施いたしました。

参加者として、大正中の生徒代表・教職員をはじめ、学区内小学校・特別支援学校の教職員・児童代表、自治会代表、民生児童委員、主任児童委員、少年補導員、各校 PTA 役員など「学・家・知」の委員の皆様にお集まりいただきました。

初めに全体会を行い、これまでの大正中ブロックにおける「横浜こども会議への取り組みについての発表」を行い、その後、小学校区ごとに分かれて、今回のテーマである「いじめ未然防止」への取り組みについてのグループディスカッションを行いました。

子どもたちからは、「あいさつを通して友達を作りやすい環境づくりをする」「言葉遣いに気を付ける」「見て見ぬふりをしない」など、教職員や地域等からは、「問題が小さいうちに解決へ」「SNS などの正しい使い方を学ぶ必要」「相談できる人を増やす」「顔の見える関係性を作る」「うわさ話をしない」など、たくさんの意見が出ました。

「いじめ」の未然防止のためには、みんなが「いじめをなくすためにどうすればよいか考える」ことが大切であると考えます。「いじめは大人にもある」との話題も出ていました。子どもたちはもちろん、大正地区のだれもが安心して生活できる「いじめのない地域」を目指すうえでは、とても有意義な会となったと思います。参加していただいた皆様、ありがとうございました。

防災訓練を実施しました！

９月４日（月）5,6校時に、**大地震発生時における生徒の安全確保**とそれに伴う**生徒の学校での留め置きと保護者への引き渡し**を考えた防災訓練を実施しました。

大地震発生を想定しての避難訓練を行った後、学年ごとに「はまっ子防災プロジェクト」を活用した学習を行いました。

＊「はまっ子防災プロジェクト」とは、横浜市内の中学生がわかりやすく防災を学ぶことを目指した横浜市との共創プロジェクトです。市内の全公立中学校に配布されております。

その後、３年生は下校し、１，２年生は保護者の引き取り訓練を行いました。事前に保護者より提出をしていただいている「引き渡しカード」による確認をもとに行いました。今回は訓練なので、時間を区切って終了をしましたが、大地震発生の際には引き渡しが長時間に及ぶことも想定しないといけないと考えております。保護者の皆様や地域の方々も、学校の対応についてご理解とご協力をお願いいたします。

個別支援学級 戸塚区交流会を行いました！！

戸塚区内中学校が３つのブロックに分かれて交流会を実施しました。大正中学校は、９月１５日（金）に、深谷中学校と豊田中学校の３校で、大正地区センター体育館にて行いました。

自己紹介やゲームを通して交流を深め、１１月に行われる宿泊学習へ向けての意識付けができました。

＜主な行事予定＞※状況によっては変更となる場合があります。

１０月　６日（金）　前期終業式
　　１０日（火）　後期始業式
　　１８日（水）　個別支援学級 市合同体育祭
　　１９,２０日（木、金）　大正祭
　　２５日（水）　児童生徒交流日
　　３０日（月）　３年進路保護者説明会
　　３１日（火）　学校運営協議会
１１月　1,2,6,7,8（水、木、月、火、水）３年個人面談
　　２日（木）　２年被爆体験伝承者講話
　　１５,１６,１７日（水、木、金）　後期中間テスト（１７日は３年のみ）

お知らせ

☆今年度の卒業式は 令和６年３月１２日（火）に決まりました。

詳細は時期が近づきましたらご案内をいたします。

○校庭の藤棚を取り壊すことになりました

校舎前にある「藤棚」は、昭和５３年度卒業記念としてこれまで設置されてきました。ただ、長年の劣化により上部を支える枠が腐食して落下する危険があり修繕を検討してきました。横浜市教育委員会とも相談をしましたが、本校は建物自体が古く修繕箇所も多く、配当されている予算内では大変厳しく、別配当による修繕も難しいとの見解であることから、取り壊すことといたしました。

当時の卒業生や支えていただいた関係者の方々、これまで愛着を持って見守っていただいた方々など、関係の皆様には大変申し訳ない思いですが、生徒の安全策と持続可能な学校運営のための決断であることをご理解いただきたく存じます。跡地については、生徒の学校での活動において有益となるよう検討してまいります。

なお、「藤棚」が設置されていたことを記録として校内に掲示することを考えております。皆さんの中で記録として残すのにふさわしい「藤棚」の写真をお持ちであればお知らせいただけると幸いです。